



発行・京都障害者スポーツ振興会

題字 芝田 徳造

「つと」の障がいを知って下さい

京都障害者スポーツ振興会
車いすハンドボール専門部

中島 康典

こんにちは！私は京都障害者スポーツ振興会では車いすハンドボール専門部に所属しております。今回は、心の病をお持ちの方々にあてての原稿依頼を受けました。本当にごく一般的な特徴等少し難しく、分かり辛い事もあるかもしない。参考にして下さい。

1993年（平成5年）に成立した「障害者基本法」で、精神的な病気と生活障害が象となり、身体障がいから遅れる事50年、知的障がいから遅れる事30年、福祉施策を法的に進められる事が打ち出された。また1995年に改正された「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」（精神保健福祉法）では社会復帰施設の充実、社会適応訓練事業などが法定化され、精神障害者保険福祉手帳も新設

されました。社会復帰を実現するためには施設の充実だけではなく、支援する人材が欠かれません。このため保健福祉の専門知識・技術者の国家資格化が進められ、「精神保健福祉士」の資格制度をスタートさせる精神保健福祉士法が1997年に成立し、翌年4月から国家試験として行われるようになりました。この仕事は社会復帰の相談、退院後の住居、再就職の助言・指導、日常生活の適応訓練など幅広い活躍が期待されています。

（こころの病の分類）

こころの病はいろいろな原因によっておこります。原因の分類については専門家によってさまざまです。一般に外因性・心因性・内因性に分けられ、心因性はこれら以外のことが原因で起こるといえます。多くの原因が重なっておこる。

ものです。外因性は身体的原因によるもので、脳に直接変化をおこす炎症や外傷、肝臓病などの代謝障がい、自家中毒、内分泌の上などに由来するものです。神経症（不安障がい・強迫障がい）などが含まれます。内因性とは原因のわかっていないものや体質などが原因になるものなどです。統合失調症・躁うつ病などが含まれます。精神分裂病（躁うつ病・てんかん・神経症・精神作用物質による精神疾患（アルコール、シンナーなど）等さまざまです。

（障がいについて）

コミュニケーションの低下により相手の言っている事を被害的に受け止めることや、相手の感情に気付かず相手の気持ちを正しく受け止められない事があるようです。又、自分の気持ちを相手に上手に伝えられない方が多いようです。能力の低下が常に緊張感を持ち続けてしまい気が休まらないう、又、ペース配分が苦手な中力が持続しない。緊張の為に普段なら出来る事でも初めての場面や大事な場面では失敗し、尻込みする方もあります。同じ事でも自信を持てば出来る事が、自身がなければ出来ないなど環境に左右される事が多いようです。些細な判断

も大きなストレスとなり、臨機応変なことや責任を持たされる事など曖昧な状態であることが、人生早期に発病する事が多く、社会常識や社会性を身につけられないことも多く現実検討力が低下し、中途障がいであるため健康であった発症前の自分を基準に考えてしまう方もあります。精神機能の低下で意欲がなく、無口・無表情・緩慢な動作が見られることもあります。運動能力が低下し、手指の不器用さ・ぎこちない動作・体力の低下が見られることがあります。精神機能が固く、一度決めたら変更できないなどの思考の固さ、偏った価値観、思い込みなどが強い方もみられます。

（関わりの基本）

手に安心とゆとりを届ける。常に泰然として、相手の小さな変化や反応に振り回されない。現実的なことのほうに話題を持って行く、非現実的な事も頭から否定しない。健康な部分に焦点を当てる、心の底に健康さがあることを感じる事・信じる事です。そして、風通しの良い信頼関係を作っていく事が大切です。以上、ここに掲載させていたいただいた内容はごく一部であり、今後の活動に少しでも参考になれば幸いです。

行事予定	12月	20(土)	京都府障害者スポーツ指導者研修会④	京都市障害者スポーツセンター	来月の つどいは 1 / 11 第2日曜日
		21(日)	207回障害者水泳のつどい	伏見港公園プール	
			城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
	1月	10(土)	京都府障害者スポーツ指導者研修会⑤	京都市障害者スポーツセンター	
11(日)		京都府障害者スポーツ指導者研修会⑥	京都府立体育館		
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010 http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (11月3日に一部更新)					

スポ振ルネサンス(9)

京都障害者スポーツ振興会
副会長 水谷 裕

京都障害者スポーツ振興会は、誕生してから今月で38年目を迎えます。いつも書いていたように、この間、年間に催す事業も増え、それらに関わってくれるボランティアのスタッフ等も格段に増えて来ました。それとともに、振興会の成り立ちや競技種目等の成り立ちについて十分な認識しか持ち得ないまま活動をしている役員もおり、中には他府県などの公的な場所で誤った歴史認識を堂々と話しているものもいると聞こえて来ていきます。

振興会の関係者が、公的な場所ですら誤った歴史認識を分かっているかのよう吹聴することは、振興会の信用を失墜させるものであり、誤って伝えられた内容に関係する人々に迷惑をかけた、場合によっては、怒りを覚えさせることになりかねませんので、ちゃんとした歴史認識を学び直して正しく伝え拡

げていって欲しいものです。

今回は、振興会活動の歴史認識を高めていただくために、いくつかのことについて挙げて行きたいと思えます。

まず、振興会活動の原点である「障害者スポーツのつどい」についてですが、振興会発会時あつまつた14団体のひとつの障害者(児)父母の会から、「養護学校等卒業後の障害のある人々がスポーツを通してつどえる場が欲しい」との意見が出されたことと、府民開放型として建てられたばかりの府立体育館が、障害のある人々にも使ってもらうことを模索していたこととあいまつて、昭和47年3月「心身障害者(児)スポーツ教室」として、現在の「障害者スポーツのつどい」が始まり、原則毎月1回、第2日曜日の午後、開催し続けて、平成20年11月には、430回を迎え、延べ約5万人の参加を得ています。これは全国的に見ても他に類を見ない事業です。

現在では、京都府立体育館の他、府立丹波自然運動

公園体育館など京都府内5か所(丹波・北部四市・丹波・乙訓・城陽等の各地域)での「障害者スポーツのつどい」と、府立伏見港公園体育館プールでの「障害者水泳のつどい」が開催されています。

次に、他府県で生まれて京都で育み育てたゲーム「卓球バレー」の歴史を紹介します。

卓球バレーは、京都で生まれたと誤解されている人が振興会の中にも多くいますが、実際には、大阪の茨木養護学校刀根山分校の土佐教諭が、筋ジストロフィー症の子ども達と共に考え出されたもので、筋力が極めて弱い子ども達に「勝敗のあるゲーム」がさせたいとの土佐教諭の強い願いと、子ども達の強い願いと、こども達のスポーツへの熱い願望が、ブラインドテニスブルテニスをヒントに考えられました。

そして、近畿筋ジストロフィー症児養護学校の交流スポーツ大会で行われ始められたのです。この大会に鳴滝養護学校のこども達と参加された片山副会長が、これを振興会活動

の中で紹介をされ、京都で広げるキツカケとなりました。振興会も、重い障害のある人々がグループでスポーツの楽しさを味わえるベスタのゲームとして、積極的にバツクアップしました。

まず最初に、昭和56年から開催された「全京都身体障害者総合スポーツ大会・卓球大会」の一部に加えられる、さらに飛躍させたのが昭和63年秋の「第24回全国身体障害者スポーツ大会」の公開競技としての開催でした。京都の前進はさらに続き、昭和63年の全スポの翌年からは、大会名も「全京都障害者総合スポーツ大会」と変更されるとともに、総合開会式と卓球バレーを独自に開催することになったのです。

昨年には「京都卓球バレー協会」が設立され、協会独自の大会も開催するまでになり、全国組織結成の準備のための話し合いが持たれるなど、全国大会の開催も視野に置かれるようになって来ています。

(次号へつづく)

第31回京都府民総合体育大会

種目別交流大会

卓球バレー競技結果

日時 平成20年11月9日(日)
会場 京都府立体育館

参加数 24チーム(225名)
第2競技場

予選リーグ

第1ブロック

みなみB かわせみ

亀岡B G M W

第2ブロック

やまぶき フェニックス

向日市 みなみA

第3ブロック

中京区 がんばろう会

玉川 宮津市

第4ブロック

亀岡A 西京区 大山崎

あやべらんニングスターズ

第5ブロック

八幡A 長岡京市

ききょう 南丹市A

第6ブロック

南丹市A ビックパン

森川卓球クラブ 与謝野町

決勝トーナメント

一位 やまぶき(宇治市)

二位 八幡A(八幡市)

三位 中京区(京都市中京区)

みなさんおつかれさまでした。